

放課後等デイサービス「キッズすてっぷかいぜ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年12月12日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	児童の障害特性やその日の状況によってスペースをパーティションで区切ったり、或いはオープンにしたり工夫している。
	2 職員の配置数は適切であるか	基準を満たす配置は行っている。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関はバリアフリーとなっている。一人一人の障害特性にあった空間を作る事ができるように配慮している。また、視覚的な絵カードや写真などの手がかりを通して、情報を得られやすいようにしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	職員間で共通認識を図りながら支援を行う事ができるように、定期的に若しくは必要に応じて話し合いの場を設けている。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年に一度保護者様へのアンケートを行い、業務全般を見直す手立てとしている。
	6 この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	事業所のホームページを通して公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は受けていないが、今後受ける機会があれば積極的に対応したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	社内で行われる研修や外部講師による研修に参加し、療育の質の向上に努めている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	定期的に計画の見直し（モニタリング等）を実施し、保護者様や児童の今の状況やニーズを把握するようにしている。また、それを計画に反映させるように努めている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	保護者様から聞き取りをしたアセスメントや発達検査の結果、相談支援事業所からの情報を支援に活かすようにしている。

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングを通して職員で意見を出し合い、活動プログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	放課後デイサービスで様々な体験をし、個々の育ちに繋がっていけるようにPDCAサイクルを大切にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日の流れ、学校休業日、長期休暇に合わせた活動内容を考慮し、子供達が楽しみながら来所できるように工夫をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	個々の特性に合わせて計画書を作成している。計画した個別活動や集団活動のねらいを明確にし支援に臨みたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	平日や学校休業日、長期休暇によって支援内容も異なってくるので、事前の打ち合わせは大切にしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には、短い時間であってもその日の振り返りを行い、その日あった事の報告や連絡、情報交換をしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の記録を個別で記載している。個別支援計画書で立案した支援目標を元にしながら、個々の育ちを確かめている。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回は個別支援計画の評価を行い、保護者様の意見も取り入れながら計画の見直し、立案を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	生活動作の習得や余暇活動の支援など複数組み合わせ、活動内容の工夫に努めている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達管理責任者が子供の状況を十分に踏まえて参画している。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校との情報交換は送迎のタイミングを利用したり、必要な時は電話で行っている。子どもの送迎時間で不確かな場合はその都度学校に確認をして、確実に乗車できるように努めている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在その対象となる児童が在籍していないが、今後医療的ケアが必要な子どもが利用される際は主治医と連携を図りたい。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	今後在籍している児童で、必要があれば情報共有を行いたい。
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在その対象となる児童が在籍していないが、これから先そういった移行支援を要する児童が在籍する場合は積極的に情報提供したい。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	専門機関と連携を取りながら助言を受け、子どもの療育に活かすことができるようにしている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	今のところ放課後児童クラブや障害のない子どもとの交流はないが、これから先そういった機会を持ちたいという希望はある。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	案内があった際は参加するようにしている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の連絡帳のやり取りや、必要に応じて電話や面談で個々の様子を伝えるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者様から相談があった際は、ペアレントトレーニングを踏まえた助言を行っている。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行うが、その後も保護者様が利用について不明な事があればその都度説明を行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談や申し入れがあった時は、内容に沿って電話や面談で対応をするようにしている。必要に応じて、相談支援員へ繋ぐこともある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナウイルス感染症の影響を受け、保護者様同士の交流はひかえてきたが、今後コロナウイルスが減少傾向になれば保護者会を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった場合は迅速に対応するようにしている。苦情への説明責任を持ちながら業務に臨むようにしたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に3回のブログ発信や毎月のキッズすてっぷかいぜの会報を通して活動や療育内容を分かり易くお知らせしている。
	35	個人情報に十分配慮しているか	児童及び職員の個人情報については、細心の注意を払い取り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	言葉での意思の疎通が難しい児童については、絵カードや写真等を活用しながら支援に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナウイルス感染症の影響を受け、地域の方との交流はひかえている。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	キッズすてっぷとしてのマニュアルは作成している。マニュアルを保護者様にも周知できるように今後取り組んでいきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署の職員に来所頂き災害に備えた研修を受講したり、年に2回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	事業所内でキッズすてっぷのマニュアルに沿った虐待防止の研修を行ったり、外部講師の虐待研修にも参加をしている。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束が必要な児童は在籍していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーにおいて、医師の診断書を要する児童は在籍していないが保護者様との面談（契約時）に詳しく聞き取りを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集は作成していないが、ヒヤリハットに値する事例が発生した際はその都度事例検討を作成し、事故防止に努めている。